

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月10日更新

事務事業名		ふれあい館維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	2	行政改革の推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	介護保険班	(内線)	1171
予算科目		会計一般	款3	項1	目6	事業連番10432	根拠法令	合志市保健福祉センターふれあい館条例・同施行規則 指定管理協定書・	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成14年6月 保健福祉センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館した。以来、合志市社会福祉協議会の活動拠点(事務所)となり、介護保険事業等(デイサービス・訪問ヘルパー等)、市委託事業(子育て支援事業、西児童館運営事業等)、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開している。 ○平成27年11月 外壁改修完了(クラック補修、防水塗装、屋上防水補修等) ○令和2年度 屋上防水、空調機器更新、非常用自家発電設置工事実施 ○指定管理期間 第1期(平成18年9月～平成21年9月)、第2期(平成21年10月～平成24年3月)、第3期(平成24～28年度)、第4期(平成29～令和3年度)、第5期(令和4～8年度)
【業務の流れ】	【管理】○年度協定の締結(各年度の指定管理料額及び支払方法)、○モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認)、○修繕費負担等の協議、○指定管理料の支払(四半期毎) 【指定】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部会議・議会全協議) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	委託料(指定管理料)、負担金(施設修繕費)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
○指定管理者に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営ができた。 ○駐車場内の樹木選定などの費用を負担し、施設の維持管理に努めた。		指定管理者に指定管理料を支払い、施設の設置目的に沿った管理運営に努める。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 指定管理料	千円	施設修繕見込みに伴う負担金の減
イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民(利用者)	→ ア 利用者数	人
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
不都合なく安全に利用してもらう。	→ ア 施設・サービス等について満足と答えた割合	%
	イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
利用者アンケート(施設・サービスに対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え95%に設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア イ	千円	28,518	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	
② 対象指標	ア イ	人	26,965	34,978	40,000	42,661	40,000	40,000	40,000	40,000	
③ 成果指標	ア イ	%	100	97.4	95	91	95	95	95	95	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円							13,100	
		その他	千円	16	13	25	17	28	28	28	
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	32,706	33,262	32,412	32,420	31,734	31,572	31,572	35,988
	(A) 事業費計	千円	32,722	33,275	32,437	32,437	31,762	31,600	31,600	49,116	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	330	310	180	225	180	180	180	250
		(B)人件費計	千円	1,290	1,179	717	819	717	717	717	996
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,012	34,454	33,154	33,256	32,479	32,317	32,317	50,112	

事務事業名	ふれあい館維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 成果指標では、料金設定に関するアンケート項目で比較対象がなかったのか「わからない」との回答が多く目標値に届かなかったが、全体を通して「あまりよくない」「悪い」と回答したものはいなかった。なお、各種イベントの低料金設定に感謝のコメントも寄せられている。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 「不満足」と指摘があった場合はその内容を確認し、適切に対応することとしている。引き続き、安心・安全に利用できる施設となるよう取り組んでいく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 引き続き指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等を適切に行うことで、施設を安定的に運営することで上位の満足度へ引き上げることができる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ふれあい館には指定管理者（社協事務局）の事務所があり、施設管理業務以外の多岐にわたる福祉に関する業務の遂行を考えると、現状での指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の指定管理料の設定であるため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民が利用する公共施設であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が所有する施設で、福祉行政の拠点として指定管理者制度により管理運営しており、適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

新型コロナウイルス感染症が「5 類感染症」に変更となったが、引き続き感染防止対策に取り組んでおり、各種事業の再開などにより、来館者数は前年度より多くなっている。
 施設の老朽化も進んでいるが大きな修繕等もなく、利用者の安心・安全な環境づくりに努め、重大な事故等もなく運営することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												